

2021年7月

No. 43

書道教室 薬院 一凜  
sho-do ICHIRIN

繼續は力なり



月刊  
一凜



夢は美一続き  
希望は高まがよ  
夢も希望も捨てなければ  
必ず近づく

刻まがよ



月刊一凜 No.43 (2021年7月)

《競書審査員》佐々木峯雲 《発行》書道教室 一凜 薬院 《制作》野口昌芳(NS)



書道教室 薬院 一凜  
sho-do ICHIRIN

〒810-0022 福岡市中央区薬院3-7-25 原ビル2F  
TEL / 092-791-7251 FAX / 092-791-7786  
<http://www.shodo-ichirin.com/>

# 道は通へよ 行かねば至らぬ

道は邇しといえども、行かざれば至らず

原文ではこの言葉のあとに「事は小なり」といえども、為さざれば成らざると続きます。道はたとえ近くとも、歩いて行かなければ到達することはできない。それと同じように、たとえ小さなことでも、実行しなければ、成し遂げることはできない、という意味です。

物事の大小にかかわらず、何事も一心に向かうことによってのみ目標は達成されます。人間はもともと弱い存在で、怠りがだからこそ、継続的な努力をしなければならない、と考えた荀子の思想を象徴する言葉です。

荀子には、他にもいろいろな名言があります。有名な「青は藍より出で、藍より青し」は、生まれた資質を越えることができる、成し遂げることのできない、という意味をもたらす易きに

流れてしまいがちな弱い人間にとつて、戒めであると同時に、励ましとなる意味です。

日本書道協会名言名句辞典

週二回三十分程度の筋トレ(十年以上継続中)などがあります。最近始めた小さなことの一つに、風呂上がり後の浴室の拭き掃除があります。その様子は決して他人には見せたい。」と子供の頃、罵倒されたことを今でも覚えています。このため何かを始めようとする

回二時間程度の運動(二十年以上継続中)、中)などがあります。最近始めた小さなことの一つに、風呂上がり後の浴室の拭き掃除があります。その様子は決して他人には見せたい。」と子供の頃、罵倒されたことを今でも覚えています。このため何かを始めようとする

荀子のこの名言にあるように、性悪説に基づいた考えである「人間はもともと弱い存在で、怠りがちだからこそ、継続的な努力をしなければならない」ということを忘れない

から継続中です。逆に最近なまけ気味なことは、ホームページのブログの更新があります。改善策として、今秋までにはホームページを刷新し、気分を新たにして、頻繁にブログを更新しなければと考えています。

佐々木 峰雲

毎晩三十分程度かけての掃除を三年程度前

\*荀子：紀元前4～5世紀、中国戦国時代末頃の思想家

## 墨を擦る

文=岡田 雄希

### 老

化現象における「傾向と対策」について、カミさんがネットの記事で読んで面白かったと話していました。私も読み、特に印象に残ったのが「人の話を聞かなくなる」というエピソードだった。夫婦二人で、そんな風にならないようにしないとね、と20代の「付き合っていた頃」にまで遡るのではないかと思えるくらいに意気投合した。

そして、つい先日。バイク通勤をする息子が、会社に着いたころにカミさんの携帯に「間違つて、車のキーを持ってきた」と電話をしてきた。カミさんが「車を動かせないじゃない!」と立腹していた。私は「予備キーを使えばいいじゃん」と、今度は私を睨みつけ「予備キーなんて、私はしらない」と怒気を含んだ声が飛んできた。

私は「新車で買った時にスペアキーを僕は見ましたけどね」と皮肉っぽく言い返した。すると再び「私は見たことがない」と怒りのベクトルを息子ではなく私に向け始めた。

すぐに私は車、バイク、自転車などの鍵を置いてある場所を探してみたが、やはりなかった。再び、カミさんに「どこかに、大事にしまってあるんじゃない」と恐る恐る聞いてみた。不機嫌なままカミさんは、「

## 傾向と対策

自分が大事にしている物を入れた引き出しを探し始めた。数秒後、カミさんが再び「付き合っていた頃」以来見せてないような笑顔で、真新しいビニール袋に入ったスペアキーをつまんでいた。「ここにスペアキーを入れたのをすっかり忘れてたわ」と普段の表情に戻っていた。カミさんの理不尽な振る舞いに、私はついリベンジしたくなつた。

ネットで読んだ老化現象における「人の話を聞かなくなる」エピソードを蒸し返した。「ない」と思い込んだら探そうとしない。いくらあるはずだと言つても記憶にないんだからないのつ! の一点張りは、老化現象の始まりじゃなかつたのかな?」とネットのエピソードとの共通性を並べ立てた。すると、カミさんが本当に頭にきた時にありがちな怖い笑顔(こちらは現在もよく見る)で「あら、私にマウント

おかげ・ゆうき／昭和33年3月20日、北九州市生まれ。平成23年12月に一凜に入門。趣味は自転車と酒を飲むこと。酒は誘われたら断らないがモット。

とか特殊詐欺もこういう風にして起きるんじゃないかと、二人で共通認識を持とうと思つてね……」と言い訳をするしかなく、あとはグダグダになつた。どこの家庭でも起きそうなありふれたトラブルだが、こうした時の「傾向と対策」は

グッと我慢して何も言わないに限る。



《流行歌》

またまたラジオのお話です。兎に角付いていません。“YOASOBI”“あいみょん”“BTS”“Ado”等々。まず妙?な、名前に違和感。流れてくる曲のはとんど(よい歌もあります)が耳に入らず「うるさい!」と感じるばかり。ラジオから流れてくるカウントダウン番組で、最新の曲を耳にしての率直な感想です。

一凛にはあらゆる世代の方が通っていますが、ギャップを実感する一つが聴く音楽ではないでしょうか。

お気に入りの番組で“なかなかラシオではオンエアされない曲を紹介”するというコーナーがあります。ある週に取り上げた曲が、奥村チヨの『恋の奴隸』。1969年の紅白ではNHKの内部規則に抵触するので別の曲を歌ったとのこと。思わずラジオから流れてくるこの曲に合わせて「~あなた好みの女~になりたい♪」。私が小学5~6年時に流行った歌ですが、覚えているんですね。あらためて聴くと歌詞は過激ですが、昭和歌謡は味わい深い歌が多いように思えます。

今春流行った、“はあ?うっせえうっせえわ あなたが思うより健康ですか?”は、コロナ禍の中、若者の鬱憤を晴らすという意味ではいいかも知れません。が、私には耳障りで仕方ありません。

“空しさに悩む日はあの人を誘いたい  
ひととも語らずにおなし歌歌おう♪  
何げない心のふれあいが幸せを連れてく  
ひとはみな一人では生きてゆけないものから♪”  
(中村雅俊・ふれあい)  
心が疲れている今、こんな歌が心に沁みます。  
“よー、そこの若いの”  
“わかるかなあ、わかんねえだろうなあ~”

書道教室 一凛 薬院  
佐々木峯雲



COVER ART  
Miki Furukawa

## 7月分課題

7月分課題は8月10日(火)が提出期限予定です。  
諦めることなく、コツコツと努力することが何より大切です。  
みなさん、今月も頑張りましょう。

硬筆

明日は、もともと朝という意味だった。それが、中世以降、前夜に  
味に使われるようになつた。明日も明るい日でありますように。  
特別なことがあった次の朝をすやすやになりやがて翌日という意  
味に使われるようになつた。明日も明るい日でありますように。

初段以上

かな

あしひきの国上の山の山吹の  
花の盛りに訪ひし君はも

六段以上

東の野にかぎろひの立つ見えて  
かへり見すれば月傾きぬ

初段～五段

漢字

萬 家 書 抵

六段以上(楷書)

孤 老 病 有

初段～五段(楷書)

初段以上

石はどうしりと腰をすえて動かないままのたどえになつた。  
だから地面に根が生えたように動かない。ここから盤  
大きくがっしりした岩のことを盤石といふ。そんな岩

10級～1級

是 色 空 即

10級～1級(楷書)

●配布された手本に間違えがないか、  
上記課題一覧を必ず確認してください。

●硬筆の添削に関して

初段以上の方の添削は毎月1回限りとします。  
十分練習を重ねて仕上げた作品を添削依頼してください。

今月の硬筆課題は初段以上も楷書につき  
六段以上の方の添削は不要です。

10級～1級

Date 2021 July No. 6

10年前、私の周りではちょっとした「習い事ブーム」が起きていました。英会話教室や料理教室、ピアノ教室など様々なジャンルに通う同僚たちの「難しいけど楽しいんだよねー」「ずっと続けられると思う」などの声を聞き、仕事以外で得られることのできる充実感や達成感に魅力を感じた私は、小学生の頃に習っていた習字を思い出し、一凛に通うことを決めました。

習い事の魅力をこれでもかと熱弁していた同僚たちは、常套手段な理由を並べては2、3ヵ月で次々と辞めていき、一番最後にブームに乗ったった私だけが予想外の習い事10年戦士となっていました。

私は無心で書き続ける教室での2時間が大好きです。日々の暮らしに追われ、気持ちがついてこない時など多々ありましたが、佐々木先生の厳しくもあたたかいご指導のおかげでここまで続けられることができました。

ただ、技術の方といえば書道歴とは反比例の状態…。佐々木先生には御恩に応えることが出来ず大変申し訳なく感じています。

そんな私が唯一先生の期待に応えられていること、それは一凛に関わる催事や発行物のお手伝いをさせていただいていることです。先生からは『一凛広報部長』を任命していただいております。(ちなみに漢字課題の準教授への昇格には入会から8年ほど掛かりましたが、広報部長には2年で就任できました。)

月刊一凛で毎月コラムを寄稿していただいている岡田さんをはじめ、その都度ご協力いただいている皆さんには本当に感謝しております。

先日先生と「月刊一凛100号を目指そう!」と目標を立てました。100号到達にはあと5年が必要です。その頃には書道歴と技術が正比例していれば良いのですが…。



多くの方に支えられ、書道教室一凛は創立10年を迎えた。この節目に際し、生徒さんに書道への思いや教室へのメッセージをいただきました。

私

と

一

凛

。

⑥

土曜日 Bクラス 野口 昌芳